

採用に向けてLet's start!

令和2年度京都府公立学校教職員採用予定者

第1回事前研修会を開催しました!!



令和元年11月23日(土)、京都府総合教育センターにて、令和2年度名簿登載者に対し、事前研修を行いました。

この研修は、採用予定者が採用に向けての意欲を高め、更なる自己研鑽への動機付けとなるように、また一層の資質向上を図り、教員として円滑なスタートができるように実施しています。

以下、参加者の声を御紹介します。



全体会 講話1「皆さんに期待すること」 講話2「より良い教職員となるために」 講話3「人権教育について」

- 「視野を広げて俯瞰的な物事の捉え方を」というお話が印象に残りました。教育や専門分野にばかり目がいていましたが、今一度、世の中の色々なことに目を向けて詳しくなって、そこから教育に立ち返って見てみようと思いました。
- 教職という職業が、どういったものであるか改めて認識したように思う。加えて人権学習の歴史的な背景について、教員の立場から見た学習の変遷を辿ることが出来たのは、非常に興味深いものだった。
- 教師としての心構え、そして4月に向けての準備に関することを学びました。児童・生徒の人生を預かる立場として、人権意識をベースにあらゆる教育活動の中で、気を引き締めて職務に就くということを念頭におきたいと思いました。



分科会

小学校部会 講演「京都府の小学校教育について」

- 令和2年度から新学習指導要領が実施されるにあたり、方向性や大切にされていることを学ぶことができました。3つの映像を見せていただき、一つの課題について、子どもたちがじっくり考え、友だちと考えを交流させながら追究していく姿を見ることができました。自分自身の授業でも、考える、交流する、追究する姿を引き出したいと思いました。



中学校部会 講演「京都府の中学校教育について」

- 京都府の学力から生徒指導の状況を幅広く学べた。不登校の生徒への自分ができることの一歩として、魅力ある学級経営と言われていたことが、とても印象強く残っている。また、中学校教員としての心構え、大切にすべきことを聞いて良かった。



高等学校部会 講演「府立高等学校の教育について」

- 「生徒指導の心得」に関して、実際に私が生徒指導を行って、うまくいかなかった時の原因の答えのような言葉がずらっと並んでいたのが、とても勉強になった。特に、「安易な約束はするな」という心得はなるほどと感じた。実際にそこから生徒の信頼を失って、後の指導が行いにくくなる様子もリアルにイメージできたので、今後生徒と関わるときには気を付けたい。



特別支援学校部会 講演「京都府の特別支援教育について」

- あらゆる立場(私たち新採も含めて)にとって、特別支援教育とはという視点で、大切なポイントを教えて頂きました。とても身近に感じる内容でした。これを忘れず、4月から目の前の生徒はもちろん、少し引いた立場で、学校や社会全体も見渡しながら、教育に取り組んでいきたいと思えます。とてもわかりやすいお話で、大切なことを沢山教えて頂きました。



養護教諭部会 講演「養護教諭の職務と求められる役割」

- 日々、児童や保護者、地域の方、他の教員と関わる中で、責任のある立場である事は実感していますが、養護教諭の求められる役割が大きいと今日改めて実感し、身が引き締まる思いです。「心配する声かけよりも、信頼する声かけ」を心掛けていきたいです。



栄養教諭部会 講演「栄養教諭の職務について」

- たくさんある仕事の中で、やはり一番大切なことは、周囲との連携だと思っています。一人職だからこそ、みんなで給食運営を円滑に行えるよう努めていきたいです。また、担任の先生から食育お願いします!!とよく言われますが、任せてもらうのではなく、一緒に授業を作っていけたらと思いました。



※ 令和2年2月1日(土)に採用予定者第2回事前研修会を実施予定